

# ボラ室が気になる、 すべてののひとへ



Vol.  
63

M

a

i

t

r

i

ガクチカ、友達づくり、社会貢献・・・  
きっかけは何でもOK！

- ▶学生ボランティア室ってどんなところ？
- ▶学生スタッフ紹介
- ▶ボランティア分野紹介～どんなボランティアをしてみたい？～
- ▶4年振りのボランティアフェスティバル
- ▶スタッフ企画のボランティア
- ▶飛び出せ！学外ボランティア
- ▶REAL VOICE～ボランティア参加者の声～

マイトゥリーとは、古代インドの言語で「最高の友情」という意味です。



075-491-2141 (代表)



紫野キャンパス7号館2F



buvcc@bukkyo-u.ac.jp



# ボラ室ってどんなところ？

— What is Volunteer Room like? —



## 01 ボランティアを必要とする施設・団体と学生をつなぐお手伝いをしています。



## 02 ボランティアから得られる経験ややりがい、人とつながる素晴らしさを伝えています。



新しい人との出会いで  
社交性が高まった!  
誰もが他の誰かのために  
生きているのだと気づけた!



▶▶▶▶▶ ボランティア体験談はP13～!

## 03 自分たちでもボランティアの企画や提案をしています。



- ・大学キャンパス周りの清掃
- ・人と人をつなぐ、ボランティアフェスティバル開催
- ・琵琶湖の清掃
- ・戦争が起こっている地域への支援方法

▶▶▶▶▶ ボラ室の企画内容はP7～!





ボランティアって  
どんな感じ？

学生スタッフ紹介

ボランティア  
分野紹介

4年振りエスの

ボランティアの  
スタッフ企画の

学外ボランティア

ボランティア  
参加者の声

## 04 ときどき学生同士で、ゲームをしながら交流を 深めます。意見交換が活発になるきっかけにも！

ええやん



この前の企画、大成功だったよなあ・・・  
もっとこういうこともしたいんだけど、どう思う？  
一緒にやらへん？

元々ボランティアに興味があった、ガクチカを作りたい、友達をつくりたい、企画力をつけたい、誰かと一緒に達成感を得てみたい・・・など、スタッフになるきっかけは人それぞれ。少しでも気になったら、ボランティア室に来てください！

## Column ～企画ミーティング～

2023年6月26日～30日 © 佛教大学 学生ボランティア室



「ボランティア」と言ってもジャンルが幅広いため、まずはひとりひとり、やりたいことを言い合える機会を持つ！と企画しました。

「ボランティアとは何か？」という問いからスタート！仕事とのちがいや、大学生のうちに参加する意義についても考えました。こども分野、高齢者や環境に関するボランティアなど様々な意見が集まり、今後の活動の方針を考えられる有意義な時間となりました。





学生ボランティア室の主役！

Student Staff

# 学生スタッフ紹介

知見を得る



代表  
歴史文化学科 3年  
**荒堀 七音**  
ARAHORI Kazune

多くの人と  
関われる



代表  
公共政策学科 3年  
**大石 敬太**  
OISHI Keita

"行動"して  
"経験"を増やせる!!



英米学科 4年  
**高瀬 駿**  
TAKASE Shun

気持ちが  
あたたかくなる



社会福祉学科 4年  
**阿江 香菜子**  
AE Kanako

人と関わる  
自分も楽しむ



社会福祉学科 4年  
**東 杏朱**  
HIGASHI Anju

人と向き合う  
ボランティアを!!



臨床心理学科 4年  
**松本 季長**  
MATSUMOTO Tokinaga



成長できる!!

臨床心理学科 4年  
馬場 歩斗  
BAMBA Ayuto



色々なことに挑戦すること、  
経験と繁栄と得らる。

社会福祉学科 3年  
勝山 杏珠  
KATSUYAMA Anju



ゆるりと  
頑張る!

公共政策学科 3年  
荒川 慶太  
ARAKAWA Keita



人と関わり  
助け合える。

現代社会学科 3年  
重森 柁太  
SHIGEMORI Shuta



許し合える  
環境

現代社会学科 2年  
宇野 晴登  
UNO Haruto



色々な社会問題に  
関心が向くようになる!!

公共政策学科 3年  
鈴木 香音  
SUZUKI Kanon



アットホーム  
な場所

社会福祉学科 3年  
伊藤 ニコ  
ITO Niko



新しい出会い!

公共政策学科 2年  
朝日 彩芽  
ASAHI Ayaka



誰かの役に立って  
自分も成長できる！

社会福祉学科 2年  
**木野 桃花**  
KINO Momoka

普段と違った  
経験を！



公共政策学科 2年  
**小崎理一郎**  
KOZAKI Riichiro

みんなを  
笑顔にしたい！！



現代社会学科 2年  
**上田 知佳**  
UEDA Chika

人との関わり



臨床心理学科 2年  
**山本 愛莉**  
YAMAMOTO Airi

みんなと  
笑顔になれる！！



中国学科 2年  
**佐藤 朱華**  
SATO Ayaka

人間味  
増す！



歴史学科 2年  
**加納なつみ**  
KANOU Natsumi

たくさんの経験を  
積むことが出来る！



歴史学科 2年  
**濱頭 蒼依**  
HAMAGASHIRA Aoi



佛光大大学  
**ぶったん**  
BUTTAN



～どんなボランティアをしてみたい？～

# ボランティア 分野紹介



## 地域活性化・地域づくり

地域の清掃活動や地域のまちづくりイベント、ふれあいまつりのサポートなどを行います。



## 福祉・高齢者・障がい者

福祉施設でのお手伝いや、高齢者スマホ教室、高齢者を対象とした地域のイベント運営の補助などを行います。



## こども・教育

子ども食堂の運営協力、子どもたちと公園で一緒に遊んだりキャンプをしたり、学習面でのサポートや居場所作りなどがあります。



## 災害ボランティア

地震や水害などの災害が起きた際、被災地において復旧活動や復興活動を行います。地震により倒れた家具などの整理、防災活動や募金活動への参加などがあります。



## 国際交流

外国にルーツを持つ日本在住の方のために、翻訳や日本語レッスンを実施したり、実際に海外に出向いて現地の子もたちと交流するなど活動内容は多岐にわたります。



## 環境・自然保護

森林を保全するための植林や間伐、環境をきれいに保つためのゴミ拾いや美化活動があります。その他、農山村の水路や農道、水田や畑の維持管理を行う体験型ボランティアもあります。

この他にも、スポーツ教室、地域安全活動などさまざまなボランティアがあります！

# #4年振りのボラフェス



104

Show all comments (17)



佛大生をボランティアとして必要としている学外団体をお招きする「ボランティアフェスティバル」を4年ぶりに開催！

ボランティアの活動内容や雰囲気などについて、団体の担当者から直接話をさせていただきました。学生とボランティア団体との架け橋になることができ、良い経験になりました。

#ボラフェス #ボラ室 #4年ぶり



## 参加団体ピックアップ

### ブースNo.6 洛和会ヘルスケアシステム

5つの病院と4つのクリニックからなる医療部門と介護部門、保育、健診センターなどが連携・協力しながら、京都と滋賀、東京をカバーする「医療」「介護」「健康・保育」「教育・研究」の総合ネットワーク。利用者の方とのお喋りなど幅広くボランティアを募集しています！



### ブースNo.8 NPO法人冒険キャンプ実行委員会

野外活動や集団活動を通じて青少年の社会的な力を育てることを目的としており、来年40周年を迎えます！

毎年春に3泊4日、夏に6泊7日、小中学生の子ともたちとスタッフ含め約80人の大規模なキャンプを行っています。





104

Show all comments (17)



ボラフェス開催のため、スタッフ5名が「ボラフェス班」として数か月にわたり準備を進めました！◎  
お招きする団体の選定から学内での広報活動、当日の設営や司会進行を含め、学生スタッフが力を合わせて実施しました。  
無事に開催できたことが、ボラ室スタッフとしての自信になりました。  
#ボラフェス班 #企画 #ボランティアコーディネート

### 学生のコメント



#### 学生スタッフH

福祉業界への就職が決まっているため、様々な団体さんからお話を聞くことができ、有意義な時間でした。  
また、学生スタッフ同士の交流の場にもなりました！  
次回はもっと多くの学生が参加してくれたら嬉しいです。

イベント冊子も自分たちで構成を考えました！



#### 参加学生S

ボランティアフェスティバルを機に、ブースNo9「高齢者施設紫野」様を後日見学させていただくことになりました！  
初めて介護施設の設備を直に見学させていただき、現場の雰囲気を知ることができました。今後のボランティア活動に活かせる良い機会をいただきありがとうございました！



アイデアいっぱい

# ≡ スタッフ企画のボランティア ≡



キャンパスを飛び出してボランティア経験を積むと同時に、自分たち自身でも「何が必要か、やってみたいか」を話し合い、ボランティアを企画しました！



スタッフミーティングで集まったアイデアは、なんと30以上！

その中から3つのアイデアを実施に繋げることができました！

その内容を一部ご紹介します！



1

## 琵琶湖の清掃

滋賀県民だけでなく京都に住んでいる方にもなじみ深い琵琶湖。BBQなどのレジャーの場としてよく利用されていることもあり、ペットボトルや紙くずなどのゴミがたくさん落ちています。暑かったですが、何袋ものゴミを集めることができました。スタッフの交流にもなり楽しく活動できました！



2

## 入院中の方々への キャンパスツアー 動画提供

独立行政法人国立病院機構宇多野病院様とは、2020年より交流を続けています。

今回は、長期入院中の皆さんに向けてキャンパスツアー動画を提供しました！

学生スタッフが撮影・編集を行い、30分以上の超大作を完成させました！



3

## 千本通のイチョウ 落ち葉清掃

紫野キャンパス前の千本通りは、毎年美しいイチョウが見られるのと引き換えに、大量の落ち葉が点字ブロックを埋め尽くしてしまいます。自転車も滑りやすくなるため、3日間にわたって歩道をきれいにしました。これからも、近隣地域へのボランティア活動を積極的に行っていきます！



どんなところ？

学生スタッフ紹介

ボランティア紹介

4年振りエスの

スタッフ企画のボランティア

学外ボランティア

参加者の声



# 飛び出せ！



# 学外ボランティア

2023年度ボラ室スタッフの目標は、「ボランティアのよさを人に伝えられるようになること」!!  
実体験からしか得られないエピソードをコーディネートに活かすため、すべてのスタッフが学外に飛び出し、ボランティア活動に参加しました！



## REPORT 1 祇園祭ゴミゼロ大作戦

地域に根付いたボランティアに参加しよう！と選んだ祇園祭の清掃活動。お祭りを陰ながら支える大事な役割を担いました。地元の方々や他大学の学生との交流の機会もあり、チームワークの工夫を学んだ貴重な場でした。



## REPORT 2 狸谷山不動院の清掃活動

清掃活動は誰でも気軽にできる社会貢献活動。落ち葉やゴミを拾うだけでも、まちなかのゴミを減らし環境保全につながります。境内につづく階段の数はなんと250段！清掃を終えた後の充実感はひとしおでした！





### REPORT 3 こども班

フリースクールのサポートや絵本の読み聞かせ等、各々やりたい企画を考えて進行しています。

子ども食堂のボランティアでは、他のボランティアとの協力体制や、子どもたちとの距離感など、難しく感じる場面もありましたが、全てが新鮮な経験で充実したものでした。

### REPORT 4 高齢者との交流

高齢化が進んでいる西野山市営住宅でのイベントにて、プラごみを活用したオリジナルアクセサリーを作るワークショップを開催しました。市営住宅の方々にとって、学生や地域住民などさまざまな方との交流の機会となりました。





# REAL VOICE

## ～ボランティア参加者の声～

ボランティアを体験した学生スタッフのリアルな声を集めました！

### ボランティアをするようになったきっかけ

2年生 スタッフA

高校生のとき、家の近所で行われていた清掃活動に参加しました。実は、それまで掃除が嫌いだったのですが、友達に誘われてしぶしぶ参加することになりました。清掃が終わる頃、近所の方に「綺麗になったなー、ありがとねー」と感謝していただき、想像以上にやりがいを感じ、大学に入ってから様々なボランティアに参加してみようかな、と思うようになりました。

入学後、清掃以外のボランティアにも参加するようになり、自分自身が主体的かつ積極的に動けるようになるなど、変わったことがたくさんありました。

今では、高校のときに嫌がる僕を誘ってくれた友達に感謝しています！

### ボランティアをしてみよう！

3年生 スタッフS

昔から、祖母と母がよくボランティアをしていました。影響を受け、自分もボランティアを始めたことは自然なことだったと思います。

最近では、主に子どもと関わるボランティアをしています。始めたころ特に苦労したことは、自分の体力が子どもの元気さについていけないことでした。今では活動時にテンションを上げ、子どもより盛り上がることを意識して接しています。すると、案外疲れることがなくなりました。

ボランティアを通して子どもが楽しむ姿を見ると、すごく「やってて良かったな」と思います。この気持ちはやってみた人にしか分からないな、とも思います。ボランティアを始める時期に遅いも早いもないので、ぜひボランティアをしてみてください！

## 気づけなかったことが見えてくる

4年生 スタッフS

私は障がい者施設でボランティアをしています。

私はこれまで、話すことのできない障がい者の方と、どうやってコミュニケーションをとれば良いのかわかりませんでした。しかし、1日利用者の方と過ごしてみて、表情の豊かさ、口の開け方、手の動きなど、身体全体を使って気持ちを伝えてくれていることに気づけました。そのうち、利用者の方の小さな笑顔や楽しそうな動きにも気付けるようになり、その嬉しさは本当に大きいものでした。このように、ボランティアをする前は、分からないことや不安なことも多かったです。今では利用者の方との時間をもっと楽しめるようになりました。

## 人と出会う機会

2年生 スタッフH

私がボランティアを始めたのは、高校生のときに「内申書に書ける！」と思ったことがきっかけです。でも、何回も続けるうちに色々な人と関われることに魅力を感じ、大学でも続けようと思いました。初対面の人と一緒に活動することも多々あり、連携をとるのが少し大変に感じることもありますが、年齢・学校問わず色々な人と関われる機会は多くないので、とても貴重だと感じています。

## ボランティアをする理由

4年生 スタッフA

ボランティアを始めたきっかけは、ボランティアに興味がある友達に誘われたことと、「せっかくなら有意義な大学生活にしたい」という思いがあったからです。

はじめは、「ボランティアは無償で引き受けるものなので、大きな責任や達成感を感じることはあまりないのではないか」と思っていました。しかし、実際にやってみると、責任感をもって物事を進めないと、関わる人に失礼になり、自分の成長にも繋がらないと気づき、「携わる企画をより良くするためにはどうすれば良いのか」とより深く考えるようになりました。大変ではありますが、楽しんで取り組んでいます。

ボランティアは、「やりたい」という自由意志の気持ちからはじまるもの！ボランティアを通して得た経験や人との出会いは、一生の思い出とこれからの生きる糧になるはずです！◎





BUKKYO UNIVERSITY

# 学生ボランティア室 道案内



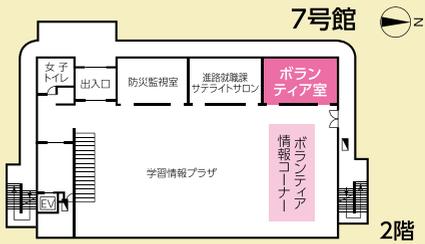
7号館2階奥で待ってます〜！遊びに来てね！！



動画でもみれるよ

## 社会連携センター 学生ボランティア室 紫野キャンパス7号館2階(学習情報プラザ内)

開室時間 9:00~16:30  
13:00~14:00は閉室 ※土・日・祝は閉室



マイトゥリーへのご意見・ご感想をお寄せください。\*マイトゥリーは年1回作成・発刊しています

発刊日 2024年4月1日  
編集・発行 佛教大学社会連携センター  
学生ボランティア室  
〒603-8301 京都市北区紫野北花ノ坊町96  
T E L:075(491)2141(代表)  
E-mail: buvcc@bukkyo-u.ac.jp  
Instagram: @buvcc1

### 編集後記

今回のマイトゥリーを作成するにあたり、お力添えをいただいた方々に感謝しています。改めて、ボランティアを通して笑顔が広がると良いなと感じました。(福谷)

イチから文章を書くことは難しかったとしても悩みましたが、楽しかったです。(勝山)

冊子の作成は人生初で貴重な機会でした。読んでいただくためにデザインを考えるなど、この経験は今後の役に立つと思います。(大石)

